

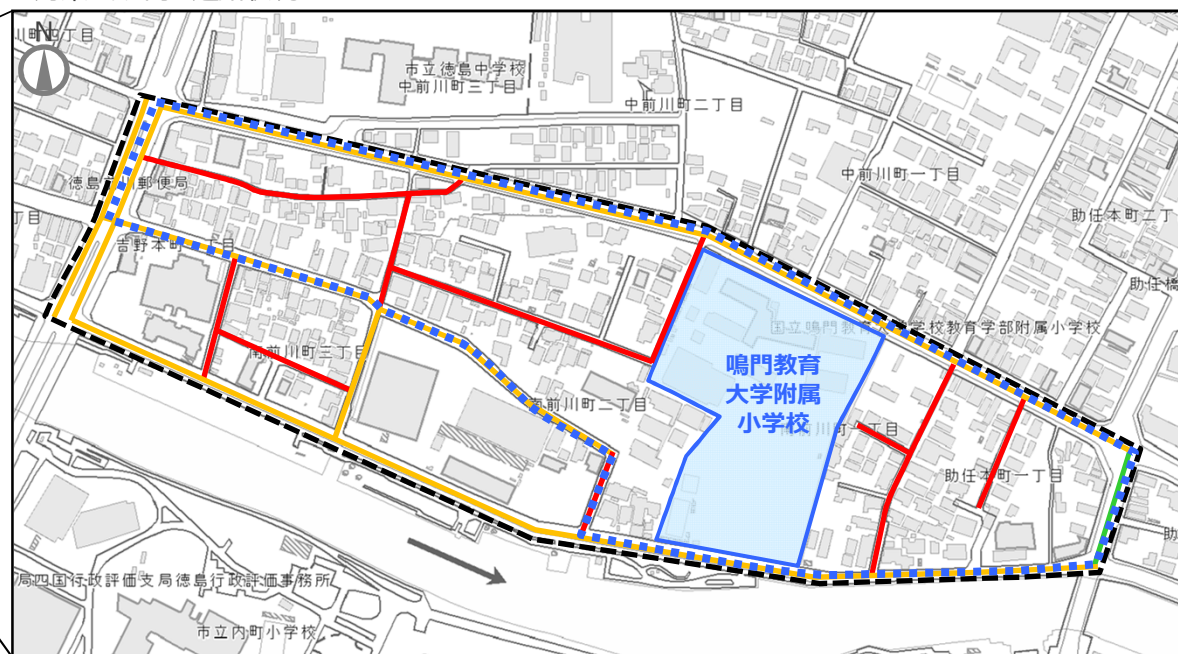
## 1. 対策エリアの概要 (位置、道路状況)

- ・対策エリアは、徳島市南前川町に位置し、エリア内に鳴門教育大学附属小学校が立地。
- ・小学校の付近は、道路の幅員5.5m未満の生活道路となっている。

▼位置図



▼対策エリア内の道路状況



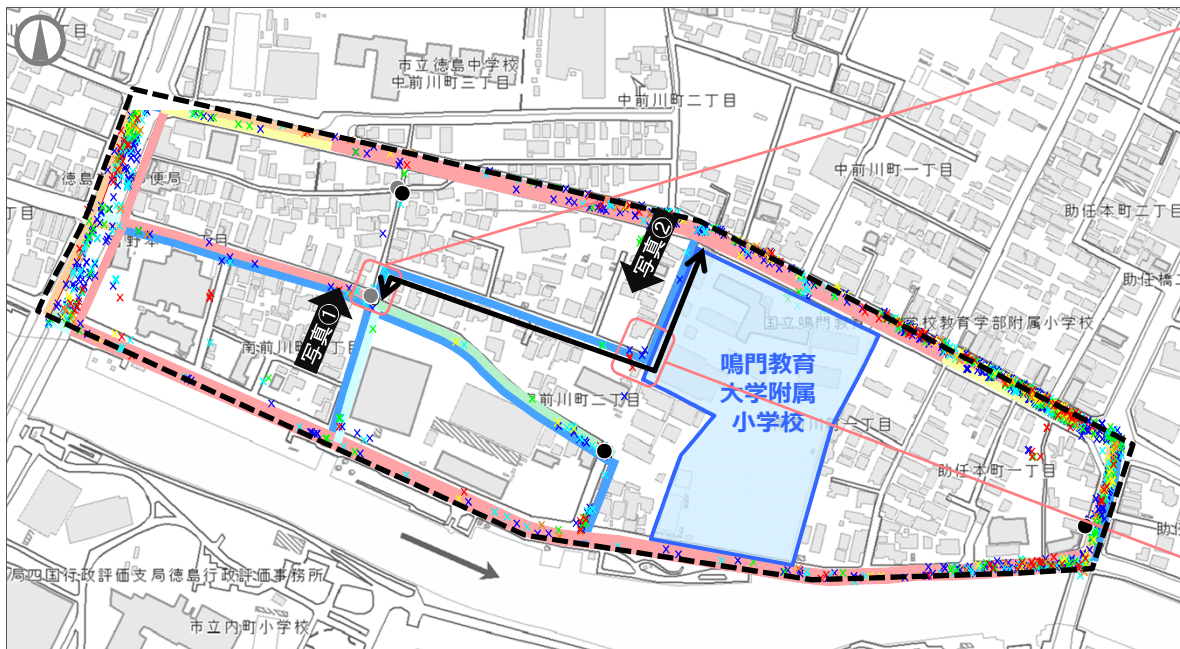
凡例

- ▭ : 対策エリア
- ⋯ : ゾーン30
- <道路幅員>
- : 幅員13.0m以上
- : 幅員5.5m以上~13.0m未満
- : 幅員5.5m未満

## 2. 対策前の事故発生状況や交通状況

・エリア内の急ブレーキ発生箇所および事故発生状況を踏まえ、危険箇所（2箇所）を抽出。

▼対策エリア内の事故発生状況・交通状況（急ブレーキ発生状況、走行速度状況） ※使用データ：ETC2.0プローブ挙動履歴データ（H27.4～H28.3）、ITARDA生活道路事故データ（H26）



危険箇所①

○交差点付近で急ブレーキが発生



危険箇所②

○小学校の付近で急ブレーキが発生



**事故 凡例**

- : 自転車×歩行者
- : 自転車×自転車
- : 自動車×歩行者
- : 自動車×自転車
- : 自動車×自動車
- : その他

**急ブレーキ※ 凡例**

- × : -0.3~-0.4G
- × : -0.4~-0.5G
- × : -0.5~-0.6G
- × : -0.6~-0.7G
- × : -0.7~-0.8G
- × : -0.8G~

**凡例**

- : 対策エリア
- ↔ : 抜け道ルート

※速度を1秒で10km/h落とした時の強度がおおよそ「-0.3G」（下記に減速の例を記載）

初速【km/h】	ブレーキ時間【s】	ブレーキ後の速度【km/h】	G換算【G】
50	1	40	-0.28
50	1	35	-0.42
50	1	30	-0.57
50	1	25	-0.71
50	1	20	-0.85
50	1	15	-0.99

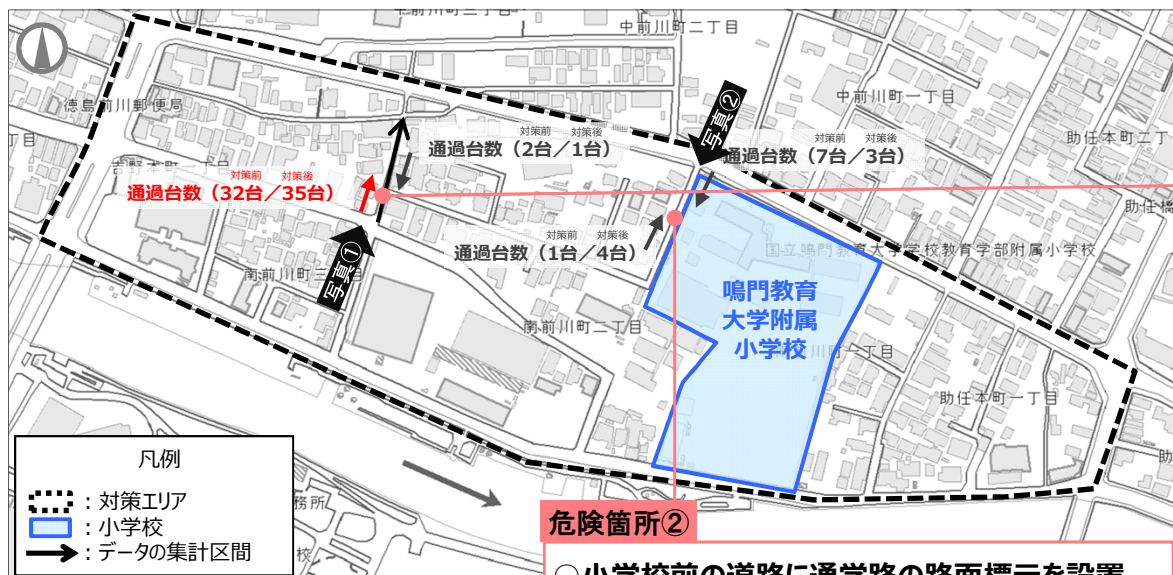
**走行速度 凡例**  
(走行速度30km/h超過割合)

- : ~10%未満
- : 10%以上~20%未満
- : 20%以上~30%未満
- : 30%以上~40%未満
- : 40%以上~50%未満
- : 50%以上~

## 3. 対策後の交通状況

- ・危険箇所においてマウントタイプや通学路の路面標示の対策を実施。
- ・危険箇所①では、北行きについて流入速度で約0.6km/h、流出速度が約1.3km/h低下した。
- ・速度が低下した要因として、手前の交差点から見通しが良いため、流入部で速度が低下し、さらに流出部で速度が低下したと考えられる。

▼対策エリアでの対策内容 (H29.9.7に対策実施)



### 危険箇所②

- 小学校前の道路に通学路の路面標示を設置。

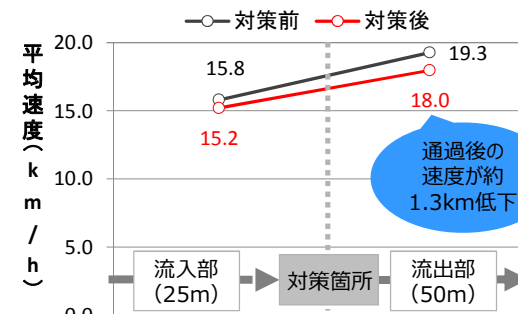


### 危険箇所①

- 交差点流入部にマウントタイプの路面標示の設置。



<北行き> 対策前後の平均速度の変化



※サンプル数：  
 対策前：手前43サンプル/直後41サンプル  
 対策後：手前42サンプル/直後47サンプル

出典：対策前ETC2.0データ (H29.6.13 (木) ~H29.9.7 (木) の平日)  
 対策後ETC2.0データ (H29.9.8 (金) ~H29.11.2 (木) の平日)